

# たかねざわ 農委情報

令和7年1月  
第137号

編集・発行  
高根沢町農業委員会  
高根沢町大字石末2053  
TEL 675-8108



令和6年11月1日(金)中央小学校にて女性農業委員と女性農業士合同で食育活動の一環として紙芝居を披露しました。

## 農地等の諸申請

(売買・交換・贈与・貸借・転用等)は

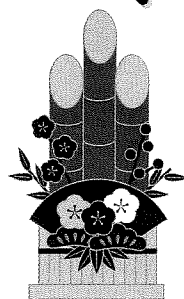
# 毎月10日〆切

(10日が休日の場合は、前開庁日)

### ——— 主な内容 ———

- 新年を迎えて…………… P2
- 農業委員・農地利用最適化推進委員の活動を通して/とちぎ女性農業委員の会設立 20周年記念式典…………… P3
- 免税軽油・誇れる町民表彰・農地パトロール… P4
- 農地の貸し借りが令和7年4月より変わります… P5
- 就農しました・農業委員会活動報告・農林業センサス…………… P6

# 新年を迎えて



高根沢町農業委員会会長

## 野中照雄



新年明けましておめでとうございます。

昨年は能登地方における元日の大地震から復旧の道半ばでの8月の集中豪雨等、全国的に自然災害が常態化し、多くの尊い命が失われました。

さて、人も野菜も悲鳴をあげ、命の危険を感じるほどの猛暑が続いていた頃、突然「スーパーからお米が消えた」とのニュースが流れました。いわゆる「令和の米騒動」です。米の生産調整をしている者にとっては信じがたく複雑な気持ちでした。訪日客が急激に増えて、米の需要が増加したことや、8月8日に宮崎県で起きた震度6弱の地震を受けて、政府発表の南海トラフ地震の発生確率に不安を感じた人々が米の買いだめに走ったとのこと。国の政策で価格安定のため耕作地の半分を米以外の

物を作ること、を勧められている農業者にとって不可解なことであり、先述述べただけの理由でこのようなことが起きるのででしょうか。

今回の米騒動を考えるに、23年産の米は高温と水不足の影響で作付面積の5割で白未熟粒が発生し、1等米は60%と過去最低でした。ゆえに、市場に流通する絶対的な量が減少したこと、高齢化の影響で想定以上に離農する農家が増えていて、耕作放棄地となるケースが増えたのではないのでしょうか。食料安全保障や食料自給率向上を重要視するのであれば、3500億円の税金を使って米作りを抑制する政策を見直し、過剰になった米は諸外国に輸出するような策はないのでしょうか。今回の米騒動は、50年も続く日本の主食米の「減反」を改めて考える好機になるかも

しれません。

農家所得が安定しなければ新規就農者が増えるはずはありません。興味や関心のある若者が生業として生活できなければためらうのは当然です。国や自治体が補助金を準備して門戸を広げても、収入が無ければその勇氣はありません。今回の米の値上がりは農業希望者の若者たちに少しでも刺激を与えられ、興味をもってもらえれば嬉しい限りです。

将来、離農者が増え、担い手が減少すれば、農地の適切な利用がされない恐れがあります。この課題と向き合うために、町は、10年後の農地利用の姿を明確化した「地域計画」の策定を進めています。農業委員会が作成した現況地図などを基に担い手等との話し合いを通し、農地の利用を明確にした目標地図を添付した「地域計画」を作成中であり、完成後は概ね2週間の縦覧を経て、今年3月末日までに公告の予定です。未来に希望の持てる魅力ある地域づくりを目指し、町の農業の振興に努めてまいりますので皆様のご理解ご協力をお願い申し上げます。結びに、皆様のご健康とご多幸をご祈念申し上げます。

# 謹賀新年

◇農業委員(議席順)

- 会長 野中 照雄
- 会長職務代理者 佐藤 正一
- 委員 平石 淳一
- 西形 政之
- 見目 崇
- 上杉奈々江
- 増淵富士子
- 水沼喜代子
- 斎藤 浩実

◇農地利用最適化推進委員

(区番等順)

- 委員 大塚 典男
- 見目 智史
- 齋藤 和宏
- 小川 修一
- 小堀 秀一
- 石塚 尚美
- 加藤 孝
- 小松 郁夫
- 仲山 一三
- 古口 善郎
- 小林 繁
- 富田 満
- 吉澤 政男
- 野中 瑞晃
- 横塚 一美
- 菊地 修一
- 小池 精一
- 加藤 清也

### 農業委員としての活動をを通して



農業委員  
西形政之

第25期農業委員に任命され、昨年5月より活動しています。毎月の定例総会への出席や、現地調査、研修会への参加など、日々職務に励んでおります。農業委員になるまでは、農地法等の法律に関わることはありませんでしたが、職務を通して少しずつ覚えていきたいと思っております。

8月には農地パトロールを実施しました。日頃私が耕作している地域は農地の様子がわかってはいますが、町内全域を見ると荒廃農地が多いことに気付きました。農家の後継者不足は深刻であり、地域の担い手が減少していることを実感しております。それだけではなく、肥料や燃料などあらゆるものの値段が高騰し、採算性が悪く利益が出ず、離農する農家が増えていくことも想定されます。昨年は米不足騒動もあり米価も上がりましたが、今後は米の価格が例年以上にならないと、小規模農家が辞めざるを得ない状況になると思います。一方で、大規模農家に農地集約

が進んでおりますが、手が回っていない現状も見受けられます。大規模農家が病気などで耕作できなくなった場合にどのようなのかを町全体で考えていかなければならないと考えます。

農業委員の役割である、農地の有効活用を推進していきたいと考えております。研修等で得たことを地域の方々に情報共有していくことで、より良くしていければと思います。

「農地を守り、次の世代に繋げる」を目標に、これからも高根沢の農地が守られるよう精進してまいります。

### 初めての農地利用最適化推進委員活動を通して



農地利用最適化  
推進委員  
仲山一三

私はサラリーマンとして働き、その間小規模ながら「兼業農家」として水稻を耕作してきました。令和6年3月末に定年退職し、4月からは「専業農家」へ鞍替えし新たな生活を始めたところです。そのような中、農地利用最適化推進委員の委嘱を受け5月から活動を始めました。研修

会等に参加し、職務についての知識を身につけながら任務を遂行したいと思っております。

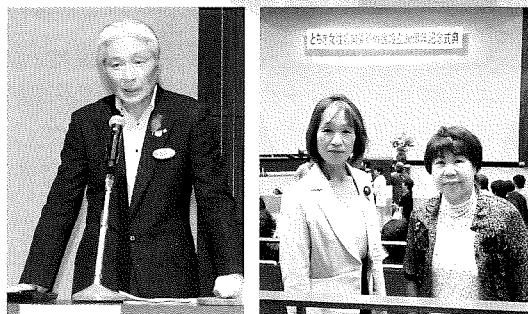
6月には初めての職務として農地の耕作者を探すあっせん業務を行いました。どのように対処すれば良いか苦労しましたが地域の先輩等のアドバイスを受け、次の耕作者に橋渡しができほっとしました。8月には農地パトロールを実施しました。中山間部の遊休農地は予想していましたが、基盤整備の行われた作業条件の良い圃場でも発生していることには驚きました。

今後、農地の管理問題に悩む方は増加するのではないかと職務を通して危機感を覚えました。今までの地域の農業を担ってきた先輩農家の方たちが高齢となり、離農者が増加していることが要因であると考えます。また、農地の受け手となってくれた担い手も受けきれない現状となってきたと感じました。

我々の役割は、担当地域における農地の集積・集約化や遊休農地の発生防止、解消、新規就農者の参入促進など、地域に密着した活動を担うことです。「今耕作している農地を、耕せるうちに耕せる人へつないでいくこと」を目標に活動していきたいと思っております。

### とちぎ女性農業委員の会設立20周年記念式典に参加しました

令和6年10月7日、栃木県総合文化センターサブホールにて開催された式典に女性農業委員2名が参加しました。歴代の会長・副会長に感謝状贈呈があったほか、講演会では福田富一知事に「女性委員のさらなる活躍を期待して」というテーマで講演していただきました。栃木県における農業の現状をデータを用いて説明したうえで、これからの農業の持続的発展に向けて県としての方針や女性委員に期待していることなどの話がありました。今後も女性農業委員・農地利用最適化推進委員の登用率が上がるよう頑張っていきます！



● ● 農業用軽油免税証の交付申請のお知らせ ● ●

月 日	受付時間	場 所	地 域
1月22日(水)	【午前の部】 9時～11時30分	役場 第2庁舎1階 第4会議室	上高根沢、栗ヶ島、寺渡戸、西高谷、花岡
1月23日(木)			平田、太田、桑窪、上柏崎、亀梨、中柏崎、下柏崎、飯室、文挾、伏久
1月24日(金)	【午後の部】 13時～16時		上阿久津、中阿久津、宝積寺、大谷、石末、宝石台、光陽台

◆ 必要書類

(1) 新規に申請する場合

① 耕作面積証明書(農業委員会で交付)

② 県収入証紙代(420円)

③ 使用する機械の詳細がわかるカタログ等(トラクター・コンバインは不要)

(2) 継続して申請する場合

① 免税軽油使用者証

② 免税軽油の引取り等に係る報告書及び納品書等の添付書類

③ 使用する機械に変更がある場合は、機械の詳細がわかるカタログ等(トラクター・コンバインは不要)

(3) 免税軽油使用者証の有効期間の始期が令和4年中の場合

① 県収入証紙代(420円)

② その他必要書類は(2)の①、③と同じです

◆ 問い合わせ先

矢板県税事務所課税課

☎ 0287・43・2173

産業課(町農業技術センター)

☎ 028・676・1441

# 誇れる町民表彰



表彰された野中会長(左)と小堀前委員(右)

令和6年11月2日、町民ホールにおいて「誇れる町民表彰」が行われ、野中照雄会長と小堀良三前委員が町功労者として表彰されました。長年にわたる農業委員活動に感謝申し上げますとともに、今後ますますのご活躍を期待したいと思います。

## 農地パトロールを実施しました!

令和6年8月26日に農業委員・農地利用最適化推進委員による農地パトロール(農地利用意向調査)を実施しました。調査の結果をもとに、荒廃農地となってしまう農地の地権者には状況改善のための通知を送付する場合がございますので、ご理解・ご協力をよろしくお願いいたします。今後も引き続き、各農業委員と農地利用最適化推進委員は随時パトロールを行っていく予定です。





# 就農しました!

## 小川 智大さん(27)〔寺渡戸〕

営農類型:ねぎ

### ★就農したきっかけは?

もともと自分でなにかをしたいという思いがありました。両親が農業を営んでおり、農業を身近に感じたからです。ねぎ農家の元で研修を積み就農しました。

### ★農業を始めて良かった点は?

プレッシャーもありますが、1から全部自分で行うのでやりがいを感じられるところです。農業を通して関わりがなかった人とのコミュニケーションがとれるので地域との繋がりも感じられます。

### ★これからの目標・意気込み等は?

経営面積を増やし規模を拡大したいです。荒廃農地や受け手を探している人の農地を活用していきたいと考えています。今後はねぎだけではなく他の品目も作っていきたいと思っています。



## 農業委員会活動報告

17月~12月

### 〔7月〕

◆7月16日(火)  
申請地現地調査

◆7月22日(月)  
農業委員会定例総会・全協

### 〔8月〕

◆8月19日(月)  
申請地現地調査

◆8月20日(火)  
農業委員会定例総会・全協

◆8月26日(月)  
農地パトロール

◆8月30日(金)  
令和6年度農業委員・農地利用最

適化推進委員研修会(宇都宮市)

### 〔9月〕

◆9月13日(金)  
申請地現地調査

◆9月20日(金)  
農業委員会定例総会・全協

### 〔10月〕

◆10月7日(月)  
とちぎ女性農業委員の会設立20周

年記念式典(宇都宮市)

◆10月15日(火)  
申請地現地調査

◆10月21日(月)  
農業委員会定例総会・全協

### 〔11月〕

◆11月14日(木)  
申請地現地調査

◆11月15日(金)  
令和6年度関東ブロック女性農業

委員等研修会(埼玉県)

### 〔12月〕

◆11月20日(水)  
農業委員会定例総会・全協

◆12月6日(金)  
農業委員・農地利用最適化推進委

員研修会(福島県)

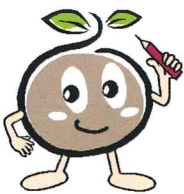
◆12月13日(金)  
とちぎ女性農業委員の会第16回通

常総会(宇都宮市)

◆12月16日(月)  
申請地現地調査

◆12月20日(金)  
農業委員会定例総会・全協

## 2025年 農林業センサス 5年毎に実施



「つっちー」

調査区内の農林業を営んでいる農家や林家、法人を調査員が訪問し、調査票の配布や回収を行います。

調査期間 1月上旬~2月下旬(2月1日現在で回答)

調査へのご理解とご協力をお願いいたします。

◆問合せ先 企画課 ☎675・8102

くらしと経営に生きる情報をお伝えます!

## 全国農業新聞

毎週金曜日発行  
購読料:月700円

お申し込みは農業委員会  
TEL 675-8108まで

編集後記

稲刈りもひと段落した昨年の10月、コンバインの横転事故を目撃しました。運転手の姿は確認できませんと心配になりました。改めて緊張感をもって農作業にあたりたいと感じる出来事でした。皆さんも作業の際には気を付けてください。今年も農地や農業に関することでお困りごとがありましたら、農業委員・農地利用最適化推進委員にお気軽にご相談ください。

### 農委情報編集委員

- |    |    |    |    |    |    |    |     |
|----|----|----|----|----|----|----|-----|
| 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員 | 委員長 |
| 加藤 | 石塚 | 小松 | 見目 | 野中 | 斎藤 | 佐藤 | 増淵  |
| 清也 | 尚美 | 郁夫 | 智史 | 照雄 | 浩実 | 正一 | 富士子 |